

中央大学リーガル・キャリア・サポート委員会主催  
業務・採用等説明会（2014年5月29日開催）

## 大成建設株式会社

中央大学法科大学院では、リーガル・キャリア・サポート委員会を組織し、在学生・修了生のみなさんに対して進路決定・就職に関するサポートを行っています。

今回の「業務・採用等説明会」では、大成建設株式会社管理本部法務部長 南波祐樹さん、管理本部人事部主任 河野耕作さん、管理本部法務部法務室 弁護士 片山智晶さん（本学法科大学院OB）においでいただき、企業の概要と法務部についてお話を伺いました。



はじめに南波さんから法務セクションの概要についてお話しいただきました。最近では景気が良くなったせいか訴訟件数が減っているとお話がありました。法務部といっても、景気の良し悪しや企業の状況次第で業務内容にも変化が出て来ようようです。また、海外での案件が増えているために、英語力は必要で、英文が読めることは前提条件とのことでした。

期待される法曹像は、売り物となる専門知識を持つこと、バランス感覚があること、と



のことです。外部の専門家とのアライアンスに関しては、顧問契約先だけでは収まらなくなってきたそうです。インハウスロイヤーの役割は、法律知識だけではなく、社内に精通していて、例えば営業の背中を押してあげることができる法務部員であってほしいとのことでした。



続いて、河野さんから、会社概要、研修制度、応募要領等について説明がありました。以前は、建設会社といえば、あまり良くないイメージがあったことは否定できないところですが、最近はそのようなことはなく、文系の新入社員の約30%は女性で、人材いきいき推進室を設置し、“くるみん”を取得するなど、働きやすい職場作りに邁進しているそうです。



次に片山さんから、ご自分の就職体験を踏まえたアドバイスがありました。就職活動は早く始めること、企業研究をしっかりとやること、入社後は社内で人間関係を築くことが課題であること、等でした。

最後に、キャリアパスについて、不定期で法務職として入社すれば、基本的には法務部であるが、本人の希望次第で違うことも経験できる可能性もあるそうです。また、法的思考があり、論理的思考回路を持った人の入社を期待しているとのことでした。

リーガル・キャリア・サポート委員会では、今後も講演会等のイベントを実施していきます。在学生また修了生のみなさん、積極的にご参加ください。